

保証書

本製品は、厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本保証書記載内容(裏面参照)によりお買上げの販売店、またはカーメイトサービスセンターが受付いたします。

お買上機種名	ダクション 360 (DC3000)		
お買上げ日	年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 ※お買上げ日がわかるもの(領収書レシートなど)と一緒に保管してください。	無料修理 保証期間	お買上げ日より 1年間
お客様 お ご ご 芳 所 名	<input type="text"/> - <input type="text"/> TEL. <input type="text"/> 様		
販売店名住所	<input type="text"/> - <input type="text"/> TEL. 印		
故障データ	取付車種:	グレード:	年式:
	症状:		

株式会社 **カーメイト** 〒171-0051
東京都豊島区長崎 5-33-11
商品のお問い合わせ : カーメイトサービスセンター
TEL:03-5926-1212 FAX:03-5926-1218

ご愛用者登録をして
アンケートに答えると
抽選でプレゼントが当たる!

詳しくはWEBサイトをご覗ください。
パソコン:
<http://www.carmate.co.jp/club/>
携帯・スマートフォン:
<http://mobile.carmate.co.jp/>



DC3000

d'Action 360

取扱説明書

安全にお使いいただくために

準備する

取付ける

撮る

見る、削除する

カメラの設定を変更する

故障かなと思ったら

はじめに

本書について

このたびは、d'Action 360をお買上げいただき誠にありがとうございます。

本書は、d'Action 360(以下、本製品という)をご使用いただくためのガイドブックです。

本製品を正しく安全にご使用いただくために、本書をよくお読みになり、内容を理解された上でご使用ください。

本書はお読みになった後も、すぐに取出せる場所に保管し、ご使用中に分からぬことや不具合やトラブルが起きたときにお役立てください。

また、本製品を他の方に譲られる場合は、本書も併せてお渡しください。



最新の取扱説明書は、下記のWEBサイトよりご確認いただけます。
<https://daction.carmate.jp/>



免責事項について

本製品の使用や故障によって生じた損失、および記録された映像やデータの損傷などによる損害については、当社はその責任を一切負いません。あらかじめご了承ください。

d'Action 360の特長

本製品は、ドライブの思い出を360度まるごと撮影できる、スマートフォン連携の車載カメラです。撮影した動画/静止画はその場でスマートフォンにダウンロードし、いつでもどこでも再生やシェアが可能です。



また、本製品には3つのモードがあり、オプション品をご購入いただくことで使用用途が広がります。



ドライブモード

車内に取付けて車内・車外を同時に撮影するモードです。ドライブレコーダー機能はもちろん、走行風景と車内の様子を同時に撮影できます。車両のカーソケットより電源が供給されると、本モードで動作します。

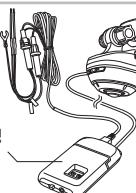


バッテリー^{パック}
(別売)

アクションモード

※別売のバッテリーオプションが必要です。

車外へ持ち出して撮影を楽しむモードです。ビデオカメラのような、シンプルな撮影機能をご使用いただけます。バッテリーパックを装着すると、自動で本モードに切り替わります。



駐車監視
ユニット
(別売)

駐車監視モード

※別売の駐車監視オプションが必要です。

駐車中にマイカーを監視するモードです。駐車中の事故など、万が一の瞬間を記録できます。駐車監視ユニットが接続された状態でエンジンを切ると、自動で本モードに切り替わります。

安全にお使い
いたくために
準備する
取付ける
撮る
見る、削除する
カメラの設定を
変更する
故障かな
と思ったら

もくじ

はじめに	1
d'Action 360の特長	2
事故が起きた際は…	4
安全にお使いいただくために	5
セット内容	11
オプション	13
準備する	14
メモリーカードをセットする	
スマートフォンに接続する	
取付位置を確認する	
見え方を確認する	
取付ける	19
撮る	22
ドライブモードで撮る	
アクションモードで撮る	
駐車監視モードで撮る	
見る、削除する	25
スマートフォンで見る、削除する	
パソコンで見る、削除する	
便利な機能	28
手動録画フォルダのメモリー残量を チェックする	
バッテリー残量をチェックする	
動作停止機能	
駐車録画お知らせ機能	
カメラの設定を変更する	29
記録画素数を変更する	
衝撃検知感度を変更する	
SSIDとパスワードを変更する	
パーティションのタイプを変更する	
リセット(初期化)する	
その他の設定を変更する	
その他	33
フォーマット	
カメラ本体のファームウェアアップデート	
LED表示内容	
故障かなと思ったら	38
仕様	41
保証書	42

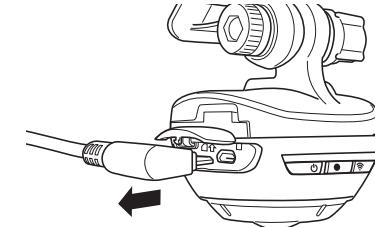
事故が起きた際は…

事故発生時に記録された映像データが上書きされないように、下記のいずれかの手順を行うことを
おすすめします。

△注意 •安全な場所に移動し、エンジンを停止してから行ってください。

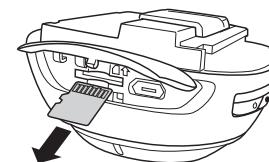
●カメラ本体から電源ケーブルを取外す

事故発生時のデータが上書きされないようにカメラ本体の電源を切ります。
※電源を切った後は録画されません。



●メモリーカードを交換する

万が一に備えて予備のメモリーカードを常備しておくことをおすすめします。
※取出したメモリーカードは取扱いにご注意ください。(p.9参照)



安全にお使いいただくために
準備する
取付ける
撮る
見る、削除する
カメラの設定を
変更する
故障かなと思ったら

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただき、お客様や周りの方、物への被害を防ぐため、必ずお読みください。

注意事項の定義

本書の注意事項は、そのレベル、内容ごとにマークを設けています。
各々の定義(意味)を充分に理解された上で、お取扱いください。

 誤った取扱いをすると、死亡や重症などを負う可能性が想定されるもの

 誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されるもの

 誤った取扱いをすると、法律違反となる可能性が想定されるもの

 取扱いにおいて知っていると有益な情報

安全上お守りいただきたいこと

 破損や故障など、異常な状態のまま使用しないこと。発煙、異音、異臭などが発生した場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災の原因となります。

 走行前に取付状態を確認すること。脱落、落下などにより、ケガや事故の原因となります。

 動作確認のための急発進や急ブレーキは行わないこと。ケガや事故の原因となります。

 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないこと。ベースメーカーや医療用電気機器などの誤作動の原因となるおそれがあります。

 電源コードや各端子部のほこりや汚れはよく拭いて取り除いてください。接触不良などによる感電や火災の原因となります。

 長時間使用しない場合は電源ケーブルをカメラ本体から外してください。車両バッテリーの放電や火災が起きるおそれがあります。また、長期間に渡って本製品を密閉された空間、炎天下、高温な環境に放置すると、火災や故障の原因となります。

 本製品は防じん、防滴、防水仕様ではありません。水をかける、濡れた手で操作する、異物を入れるなどの行為は行わないでください。感電や火災、故障の原因となります。

 本製品は、以下の機器と同じ周波数帯(2.4GHz帯)を使用しています。

①電子レンジなどの産業・科学・医療用機器など

②工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)

③特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

本製品を使用する際には、上記の機器や無線局と電波干渉するおそれがあるため、以下の事項に注意してください。

1.本製品を使用する前に、近くで上記の①～③の製品が運用されていないことを確認してください。

2.万一、本製品から移動体識別用の構内無線局(②)に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品を停止させてください。

 本製品内に結露が生じた場合は、使用しないでください。特に低温から高温に移動したときに、結露が発生しやすくなり、故障や発熱の原因となります。

 本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。

取付けについて

 エアバッグの動作を妨げる場所には取付けや配線を行わないこと。動作したエアバッグによる事故やケガ、またはエアバッグが正常に動作しない場合があります。

 取付けは、本書に従って正しく行うこと。また、走行時や検査時にはカメラ本体をマウントから取外さないでください。誤った取付けは道路運送車両法の保安基準に違反する場合があります。また事故の原因となります。

 磁石などの磁気を帯びたものを本製品の近くに置かないでください。故障やデータ損傷の原因となります。

 本製品の穴やすき間にピンや針金などの金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。

 運転者は走行中に操作および注視をしないこと。法律で禁止されています。また事故の原因となりますので、絶対に行わないでください。

 本製品は日本、アメリカ、香港でのみ使用が認められています。それ以外の国や地域では法律に抵触するおそれがありますので使用しないでください。

This product is for use only in Japan, USA, and Hong Kong

 分解や修理、改造は行わないこと。感電や火災、故障の原因となります。

 本製品に貼付けてある技術適合証明ラベルをはがさないこと。ラベルのない製品を使用することは、法律で禁止されています。

安全にお使い
いたくために

準備する

取付ける

撮る

見る、削除する

カメラの設定を
変更する

故障かな
と思ったら

電源について

⚠ 電源ソケットは単独で使用してください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

⚠ 電源ケーブルを外す際は、必ずコネクタ部分を持って行ってください。電源ケーブルが損傷すると、感電および火災の原因となります。

⚠ DC12V / 24Vマイナスアース車以外では使用しないでください。故障の原因となります。
また、駐車監視オプション(DC200)は12Vマイナスアース車のみの対応です。ご注意ください。

💡 本製品に備わっている3つのモードは、電源供給源を認識することで切り替わります。そのため、市販のUSBケーブルやUSB電源ソケットを使用すると動作しない場合があります。必ず本製品の付属品またはオプション品を使用してください。

カメラについて

⚠ ダッシュボードなど温度が急激に上昇する場所に放置しないでください。変形および火災の原因となります。

⚠ 長時間の使用によりカメラ本体が高温になった場合は、直接手で触れないでください。やけどの原因となります。

⚠ カメラ本体の端子を手で触らないでください。故障の原因となります。

⚠ 清掃の際、研磨剤入り洗剤、アルコール、有機溶剤入りの洗浄液を使用しないでください。

💡 輸入車など一部の車両では、エンジンを停止してもカーソケットに常時電源が供給されるものがあります。その場合は、降車時に電源ケーブルを抜いてください。

💡 本体の電源をONにしてから、録画の開始まで最大約30秒かかります。
(ただし、カメラ本体が動作温度範囲を超えている場合、さらに時間を要します。)

💡 一部のアイドリングストップ車では、再始動時の電源を確保するため、供給電圧が低下することがあります。これにより本製品への電源供給が停止する場合があります。

GPSなどについて

💡 GPSなどの電波が受信できない場所では、自動位置および自動速度を記録することはできません。

💡 GPSなどの電波は、周囲の状況や地理的要因によって受信しにくい場合や受信できない場合があります。

💡 GPS衛星は米国国防省によって管理されており、故意に精度が変更されることなどがあります。

💡 本製品の近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機などを設置しないでください。それらの機器や本製品が誤作動を起こす可能性があります。

💡 テレビアンテナの近くで使用すると、テレビ受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。

💡 周囲に障害となる物を設置しないでください。GPSなどの電波受信に悪影響を及ぼすおそれがあります。

💡 電源起動時はGPSなどの電波を受信するまでに時間がかかります。受信環境、気象条件、車両条件、製品位置により数十秒から数分かかる場合があります。

💡 フロントガラスにコーティングなどが施された車両は、GPSなどの電波を受信しにくい場合があります。

録画について

🚫 記録した映像やデータは、使用方法によっては他人の法的な権利を侵害する可能性があります。本製品で記録した映像やデータの内容、それによって起因した事項については、当社は一切責任を負いません。

💡 本製品は事故の証拠としての効力およびナンバー・車種・色などの特定を保証するものではありません。

💡 本製品はすべての状況下における録画を保証するものではありません。
また、本製品の使用や故障によって生じた損失、および記録された映像やデータの損傷などによる損害については、当社はその責任を一切負いません。あらかじめご了承ください。

💡 録画性能や記録時間などは被写体や周辺環境などに影響され、変動する場合があります。

💡 撮影シーンや取付環境によっては極端に暗くなったり、明暗を繰り返すなど、録画品質が低下することがあります。

💡 レンズ表面や車両ガラス表面はいつもきれいにしておいてください。ほこりや異物による乱反射や屈折により、映像が乱れるおそれがあります。

💡 暗い環境では、なるべく高品質で録画するために、車両のヘッドライトやフォグランプを点灯してください。

⚠ レンズに直射日光を長時間当てないでください。故障の原因となります。

💡 レンズ表面に泥や砂、指紋などの汚れが付着したときは、繊維くずの出ない乾いたきれいな布で拭取ってください。

💡 本製品は電子部品の特性上、使用条件によりカメラの表面および内部温度が高くなる場合があります。
動作温度範囲を超えた場合、製品保護のため動作を停止します。
動作が停止した場合は、カメラの温度を下げてから使用を再開してください。

メモリーカードについて

- ⚠ 長時間の使用によりメモリーカードが高温になった場合は、直接手で触れないでください。やけどの原因となります。**
- ⚠ 油がついた手や濡れた手でメモリーカードを触らないでください。損傷、故障の原因となります。**
- ⚠ データのバックアップ、フォーマット、システムリセットおよび動作中は、絶対にメモリーカードを取出さないでください。データやメモリーカードが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。**
- ⚠ メモリーカードを落としたり強い衝撃を与えないでください。破損およびデータが損失するおそれがあります。**
- ⚠ スロット内に異物を入れたり、端子部分を手で触らないでください。破損、誤動作、故障の原因となります。**
- ⚠ メモリーカードを挿入するときは、必ず正しい向きで力ちつと音がするまで差込んでください。無理に挿入するとメモリーカードを破損させる原因となります。**
- ⚠ カメラ本体のアップデート中に本体の電源をOFFにしたり、電源ケーブルやバッテリーパック（別売）を外したりしないでください。故障の原因となります。**
- ⚠ メモリーカードは消耗品であり、書き込み回数など製品寿命があります。1日2時間程度使用する場合で約1年半を目安に交換することをお勧めいたします。**
- ⚠ メモリーカードを鋭利な物で傷を付けないでください。メモリーカードを破損させる原因となります。**

 以下の場合、メモリーカードをフォーマットしてください。（手順はp.33参照）

- 新規購入したカードを使うとき
- 他のカメラやパソコンなどでフォーマットしたカードを使うとき
- 書き込み／読み取り速度が遅くなったと感じたとき
- カード内のデータを全て消去したいとき
- メモリーLEDのエラー表示が出たとき
- カメラから「フォーマットしてください」と音声が流れたとき

 メモリーカードは消耗品です。一定使用期間（回数）が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷されて正常な録画ができなくなることがあります。

 重要なデータは、必ず他のデバイスにバックアップしてください。メモリーカード上のデータは上書きや消去される場合があります。

 メモリーカードを別途購入する場合は、必ず使用条件をご確認ください。（p.14参照）条件を満たしていないメモリーカードを使用すると、データの損失や記録できない場合があります。

 メモリーカードは、清潔な乾燥した涼しい場所で保管してください。

駐車監視モードについて

 駐車監視モードは、必ず駐車監視オプションを使用してください。他のコードなどで電源に直接接続線すると、車両のバッテリー上がりや故障の原因となります。絶対にお止めください。

 駐車監視モードによる車両のバッテリー上がりに関して、当社はその責任を一切負いません。

 24V車で駐車監視オプションを使用する場合は、DC201をご購入ください。

著作権について

 記録した映像やデータは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

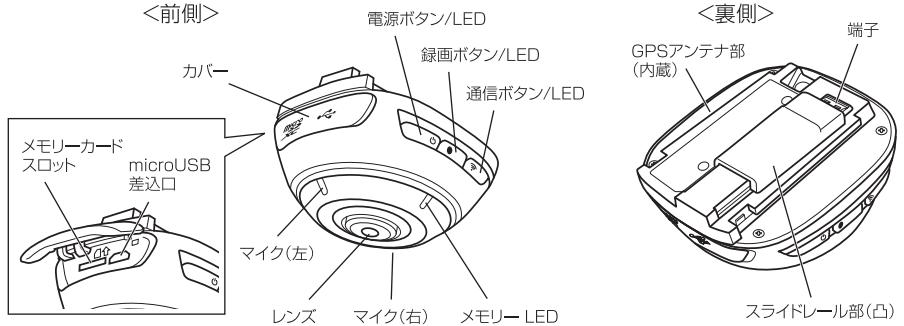
ステッカーについて

 ステッカーは、保安基準で貼付可能な位置が定められています。フロントガラスまたは運転席・助手席のサイドガラスには貼付けないでください。また、強粘着のため塗装面への貼付けにはご注意ください。

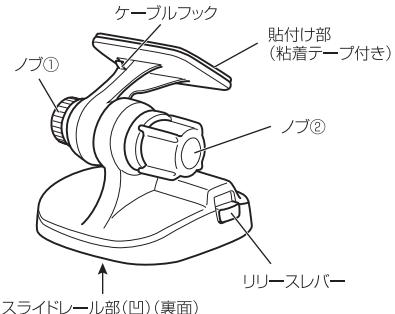
セット内容

本製品を使用する前に、必ず内容物を確認してください。

●カメラ本体 1個



●マウント 1個



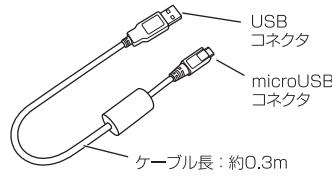
●電源ケーブル 1本



●電源ソケット 1個



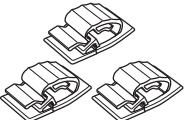
●通信ケーブル 1本



●ステッカー 1枚



●ケーブルクリップ 3個



●メモリーカード 1枚

microSDHC 16GB
(UHS-I スピードクラス3)



●取扱説明書(本書)



●スマートフォン用アプリ

d'Action 360 (iOS)



d'Action 360 (Android)



●パソコン用ソフト

d'Action 360 (Windows)

OSおよび端末の動作保証環境やダウンロードなどについて
は下記のWEBサイトにてご確認ください。
<https://daction.carmate.jp/support/>

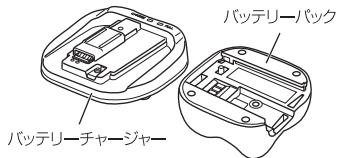


いたくために
安全にお使い
準備する
取付ける
撮る
見る、削除する
カメラの設定を
変更する
故障かなと
思つたら

オプション

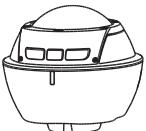
必要に応じて別途お買い求めください。(2019年11月現在)

●バッテリーオプション (DC100)



リチウムイオン電池内蔵のバッテリーセット。
カメラ本体に装着することで、車の外へ持ち出して
撮影できるようになります。

●防滴ケース (DC300)



IPX4相当の専用防滴ケース。
雨や雪を気にせずアクティビティを楽しめるようになります。

詳しくは、下記のWEBサイトをご覧ください。
<https://daction.carmate.jp/>

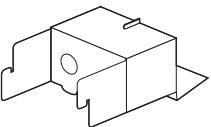


●駐車監視オプション (DC200/DC201)



車両バッテリーから電源を取る配線ユニットセット。
駐車中でもマイカーの監視ができるようになります。

●VRビューワー (DC06)



スマートフォンセットタイプの組み立て式VRビューワー。
撮影した動画や静止画のVR再生が楽しめます。

準備する

メモリーカードをセットする

1 電源OFFを確認する

カメラ本体の電源がOFFで、全てのLEDが消灯していることを確認します。

2 カードをセットする

カメラ本体のカバーをめくり、メモリーカードの向きに注意してカチッというまで確実に奥まで差込んでください。

取出し

メモリーカードを取出す際は、カードをカチッと音がするまで押込み、少し飛び出したらゆっくりとまっすぐに引き抜いてください。

△注意

- データのバックアップ、フォーマット、システムリセットおよび動作中には、絶対にメモリーカードを取出さないでください。メモリーカードが損傷し、使用できなくなるおそれがあります。
- 重要なデータは、必ず他のデバイスにバックアップしてください。データによっては、本製品使用中に上書きされる場合があります。
- メモリーカード内に、本製品以外で記録されたデータを保存しないでください。正しく動作しない場合があります。
- メモリーカードには向きがあります。正しく装着していないと、メモリーカードの破損や誤動作の原因となります。
- メモリーカードの取出しは、必ず本製品の電源がOFFになっていることを確認してから行ってください。ONの状態で取出すとメモリーカードや保存データを破損させる原因になります。
- 長時間の使用によりメモリーカードが高温になった場合は、直接手で触れないでください。やけどの原因となります。
- メモリーカードの容量によっては、起動時間が遅くなる場合があります。

メモ

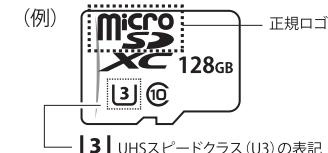
付属品以外のメモリーカードを使用する場合は、以下の条件をご確認ください。

カードの種類	microSDHC / microSDXC	容量	16~128GB	※:常時／衝撃録画を同時処理および4K相当の録画を行うため、最低保証速度30MB/sec以上のスピードが必要です。
スピードクラス	UHS-I スピードクラス3 *	その他	microSDの正規ロゴがあること	(2019年11月現在)

使用不可の表記例



- 「」の表記が無い場合は使用できません。
- 正規ロゴが無い場合は使用できません。



スマートフォンに接続する

1 スマートフォンに専用アプリをインストールする

本製品で撮影した動画を確認するには、専用アプリのダウンロードが必要です。
App StoreまたはGoogle Playにて専用アプリをダウンロードしてください。

d'Action 360 (iOS)



d'Action 360 (Android)

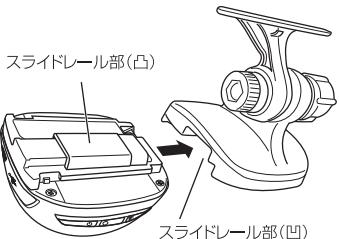


2 カメラ本体をマウントに装着する

カメラ本体とマウントのスライドレール部の凹凸を合わせ、カチッと音がするまでスライドさせます。

取外し

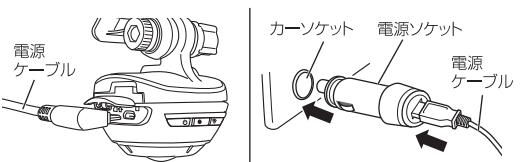
マウントのリリースレバーを上げながら、カメラ本体をスライドさせます。



3 電源ケーブルを接続する

電源ケーブルのmicroUSBコネクタをカメラ本体へ差込み、もう一方のUSBコネクタを電源ソケットに差込んだ後、電源ソケットを車両のカーソケットに差込みます。

※各コネクタの向きに注意してください。



4 エンジンをかける

車両のエンジンをかけて(イグニッションをONにして)、数秒後に全てのLEDが点灯することを確認します。



5 スマートフォンの無線LANをONにする

スマートフォンの「設定」から「Wi-Fi」をONにします。

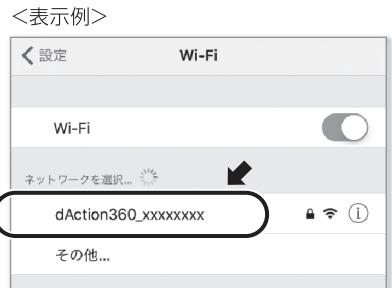


6 SSIDを選択し、パスワードを入力する

手順⑤で「Wi-Fi」をONにすると、接続可能な無線機器一覧が表示されます。その中から、「dAction360」から始まるSSIDを選び、パスワードを入力してください。

〈初期設定値〉
SSID: dAction360_xxxxxxxx
パスワード: 12345678

※SSIDとパスワードは変更可能です。(p.29参照)



7 専用アプリを起動し、接続を確認する

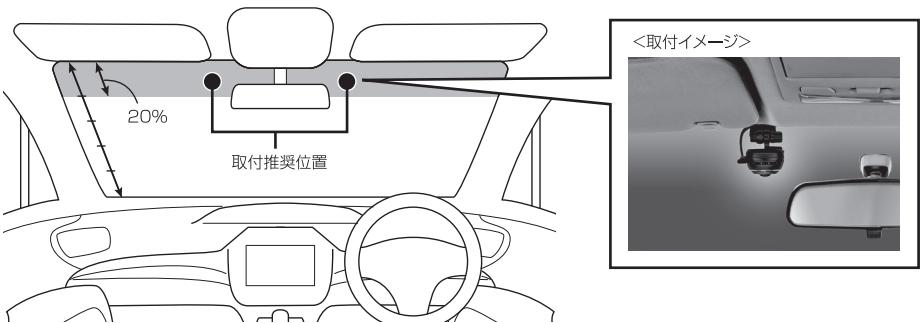
専用アプリを起動し、接続されているか確認してください。
接続ができない場合は、一旦エンジンを切って(イグニッションをOFFにして)手順④からやり直してください。

安全にお使い
いたくために
準備する
取付ける
撮る
見る、削除する
カメラの設定を
変更する
故障かなと
思ったら

取付位置を確認する

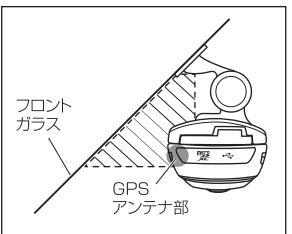
スマートフォンで確認した映像と併せて、下記注意事項を確認し、カメラの取付位置および電源ケーブルの取回しを確認してください。

※誤った取付けは、道路運送車両法の保安基準に違反するおそれがあります。必ず正しく取付けてください。また、走行時や検査時にはカメラ本体をマウントから取外さないでください。



△注意 下記項目を全て満たすように取付け・取回しを行ってください。

- 運転時の視界や操作を妨げないこと
- ルームミラーーやエアバッグの動作を妨げないこと
- フロントガラスの上部20%の範囲内に入ること(上図)
- カメラのレンズがワイパーの拭取り範囲内に入ること
- ガラスにプリントされている熱線やアンテナ、ぼかしなど表面に凹凸がある部分を避けてマウントを貼付けること
- 安全運転支援システムなどのカメラを装着している場合はその映像範囲内に映りこまないこと
- フロントガラスとGPSアンテナ部の間(右図斜線部)にケーブルや金属物が無いこと
- サンシェード等の日除けを使用する際は、カメラ本体をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないように設置すること(熱がこもりやすく、カメラ本体の故障や両面テープ剥がれの原因となります)



見え方を確認する

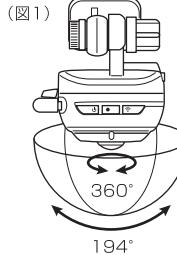
接続したスマートフォンの専用アプリで映像を見ながら、カメラの取付位置や振り角度をおおまかに確認します。

※まだ取付けはしないでください。

メモ

撮影視野角について

本製品は全天周360度カメラのため、撮影範囲は、水平360°、垂直194°のドーム状になります。(図1)
レンズが真下を向くように取付けることで、走行風景と車内の様子を同時に撮影することができます。(図2)



取付位置が確認できたら、カメラ本体から電源ケーブルを外し、マウントからカメラ本体を取り外してください。

取付ける

取付けは、GPSなどの電波を受信しやすい屋外などで行ってください。

市販のUSBケーブルやUSB電源ソケットを使用すると動作しない場合があります。
必ず本製品の付属品またはオプション品を使用してください。

1 取付位置をきれいにする

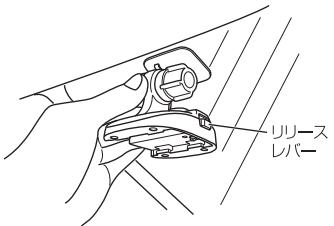
取付面の汚れ、油分を中性洗剤でよく拭取り、水拭き
をした後、乾いた布で拭取ります。

2 マウントを貼付ける

マウントに付いているハクリ紙をはがし、リリースレバー
が右側になる向きでフロントガラスに強く押付けて
貼付けます。

※粘着力を安定させるため、24時間以上放置してく
ださい。なお、粘着力が低下するため貼直しはでき
ません。

※カメラ本体装着前の走行はお控えください。



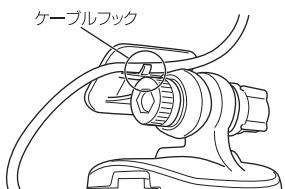
3 カメラ本体をマウントに装着する

カメラ本体とマウントのスライドレール部の凹凸を
合わせ、カチッと音がするまでスライドさせます。

4 電源ケーブルを取り回す

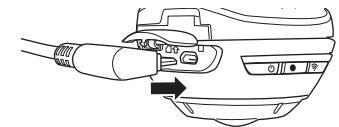
付属のケーブルクリップを使って、電源ケーブルを
取回します。

カメラ本体周りの電源ケーブルは、マウント
上部のケーブルフックに通すときれいに收
納できます。あらかじめケーブルに余裕をも
たせた取回しをおすすめします。



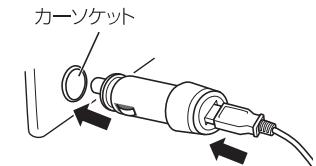
5 メモリーカードがセットされていることを確認し、 電源ケーブルを接続する

カバーを開け、メモリーカードがセットされてい
ることを確認した後、電源ケーブルのmicroUSBコネク
タを差込みます。



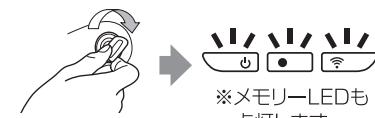
6 電源ケーブルを車両のカーソケットに接続する

電源ケーブルのUSBコネクタを電源ソケットに差込
んだ後、電源ソケットを車両のカーソケットに差込み
ます。



7 エンジンをかける

車両のエンジンをかけて(イグニッションをONにして)
、数秒後に全てのLEDが点灯していることを確
認してください。
また、日時設定のため、GPSなどの電波を受信する
必要があります。約40秒以上はエンジンをかけたま
まお待ちください。



※メモリーLEDも
点灯します。

8 スマートフォンに接続する

通信LEDの点灯を確認した後、カメラとスマ
ートフォンを無線LAN接続し、専用アプリを起動し
ます。

安全にお使い
いただきために

準備する

取付ける

撮る

見る、削除する

カメラの設定を
変更する

故障かなと
思ったら

撮る

9 カメラの振り角度を調節する

接続したスマートフォンのアプリ画面で映像を確認しながら、カメラの振り角度を調節します。角度が決まったら、ノブ①が回らないように手で押さえながらノブ②を回してしっかりと固定します。

メモ

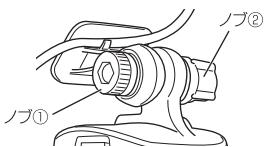
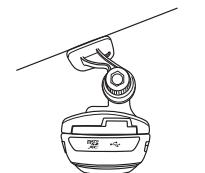
カメラの振り角度と見え方について

カメラの振り角度によって、見え方が異なります。(下図)車の進行方向ヘンズを向けることで前方の交通状況が映りやすくなり、また、進行方向とは逆向きにレンズを向けることで車内や後方の様子が映りやすくなります。お好みで調節してください。

<レンズが進行方向向き>



<レンズが真下向き>



<レンズが車内向き>



衝撃検知感度はレンズが真下向きのときに最大になります。カメラの振り角度が大きくなるほど感度は低下します。

10 エンジンを切る

カメラの振り角度を固定できたら、エンジンを切り(イグニッションをOFFにし)、取付完了です。

ドライブモードで撮る

1 エンジンをかけ、電源をONにする

エンジンをかける(イグニッションをONにする)とカメラの電源が自動でONになり、常時録画を開始します。数秒後に全てのLEDが点灯していることを確認してください。

※カメラの電源がONになってから録画できる状態になるまで、最大約30秒かかります。



※メモリーLEDも点灯します。

2 録画する

ドライブモードでは下記の4つの録画機能が使えます。メモリーカードには各録画機能ごとにフォルダが作られ、録画・撮影されたファイルは各フォルダにGPSの位置情報と共に記録されます。

●常に録画する	■常時録画 エンジンをかけてから切るまで連続で録画します。 1分ごとに1ファイルずつ記録され、フォルダ容量が一杯になると古いデータから順に上書きされます。 ※手動録画中は常時録画されません。
●事故状況を残す	■衝撃録画 衝撃を検知すると、前後各10秒間(計20秒間)を録画します。 フォルダ容量が一杯になると、古いデータから順に上書きされます。 ※衝撃録画より手動録画が優先されます。そのため、手動録画中は衝撃を検知しても衝撃録画はされません。
●景色を撮る ●楽しい車内を残す	■手動録画 手動録画は2つのパターンから選べます。(設定はp.32参照) ●通常(初期設定値)： カメラ本体の録画ボタンを押すか、スマートフォンからの操作で、録画を開始・終了します。1分ごとに1ファイルずつ記録されます。 ●前後録画： カメラ本体の録画ボタンを押すか、スマートフォンからの操作で、前10秒間と後30秒間(計40秒間)を録画します。ただし、後30秒間が経過する前に再度録画ボタンを押した場合、その時点で録画を終了します。 フォルダ容量が一杯になると録画を停止します。
●記念写真を静止画で撮る	■静止画撮影 スマートフォンからの操作で、静止画を1枚撮影します。 フォルダ容量が一杯になると、静止画撮影はできません。 ※カメラ本体のボタン操作で静止画撮影はできません。 ※手動録画中は静止画撮影できません。 ※ドライブモード中は4K相当の静止画撮影はできません。

3 エンジンを切り、電源をOFFにする

エンジンを切り(イグニッションをOFFにする)とカメラの電源が自動でOFFになります。数秒後に全てのLEDが消灯していることを確認してください。

アクションモードで撮る

1 バッテリーパックを装着する

充電されたバッテリーパック(別売)をカメラ本体に装着します。

2 電源ボタンを長押しし、電源をONにする

カメラ本体の電源ボタン[]を2秒以上長押しすると、カメラの電源がONになります。

カメラ本体の電源LEDが点灯していることを確認してください。

※バッテリーパック装着後、約2秒間は電源ボタンを長押ししても電源はONになりません。

3 録画する

アクションモードでは下記の2つの録画機能が使えます。

メモリーカードには各録画機能ごとにフォルダが作られ、録画・撮影されたファイルは各フォルダにGPSの位置情報と共に記録されます。

●車外でのアクティビティを撮る	■手動録画 カメラ本体の録画ボタンを押すか、スマートフォンからの操作で、録画を開始/終了します。 1分ごとに1ファイルずつ記録され、フォルダ容量が一杯になると録画を停止します。	1分
●記念写真を静止画で撮る	■静止画撮影 スマートフォンからの操作で、静止画を1枚撮影します。 フォルダ容量が一杯になると、静止画撮影はできません。 ※手動録画中は静止画撮影できません。 ※カメラ本体のボタン操作で静止画撮影はできません。	

4 電源ボタンを長押しし、電源をOFFにする

カメラ本体の電源ボタン[]を2秒以上長押しすると、カメラの電源がOFFになります。

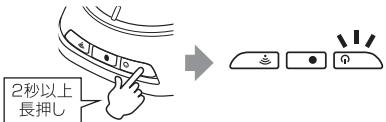
カメラ本体の電源LEDが消灯していることを確認してください。

△注意

●録画中にバッテリーパックを取り外すと正しく記録されません。

録画を停止し、電源をOFFにしてから取外してください。

※別売のバッテリーオプションが必要です。

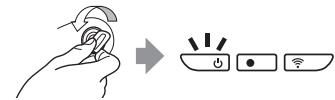


駐車監視モードで撮る

※別売の駐車監視オプションが必要です。

1 エンジンを切る

駐車監視オプション(別売)を接続した状態でエンジンを切る(イグニッションをOFFにする)とドライブモードが終了し、カメラの電源が一旦OFFになります。その後、自動で再び電源がONになり、駐車監視モードに切り替わります。電源LEDが一定間隔で緑色に点滅していることを確認してください。



2 録画する

駐車監視モードでは下記の録画機能が使えます。

録画されたファイルは、メモリーカード内のフォルダに記録されます。
※GPSの位置情報は記録されません。

■駐車録画	通常	省エネモード
●当て逃げなどを記録する	衝撃を検知すると、前10秒間(フルHD相当撮影時)または前7秒間(4K相当撮影時)と後30秒間(計40秒間または37秒間)を録画します。	衝撃を検知すると、約3秒後から30秒間を録画します。
●省エネモード時:	フォルダ容量が一杯になると古いデータから順に上書きされます。 ※駐車録画中にエンジンをかけると、その録画データは保存されません。	3秒 30秒

「省エネモード」について

車のバッテリーを守りつつ、より長時間動作し続けるために、省エネモードを備えています。

駐車監視モード開始から設定した省エネモード切り替え時間が経過した場合、またはカメラ本体が高温になったときに自動で省エネモードに切り替わります。(切り替え時間の設定はp.32参照)

このとき電源LEDは消灯します。

また、カメラ本体が動作温度範囲を超えた場合は製品保護のため動作を停止します。

3 エンジンをかける

エンジンをかける(イグニッションをONにする)と駐車監視モードが終了し、カメラの電源が一旦OFFになります。その後、自動で再び電源がONになり、ドライブモードに切り替わります。数秒後に全てのLEDが点灯していることを確認してください。

安全にお使いのため
いたくために
準備する
取付ける
撮る
見る、削除する
カメラの設定を
変更する
故障かなと
思ったら

見る、削除する

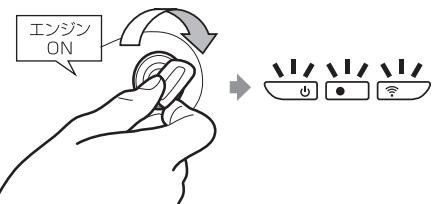
スマートフォンで見る、削除する

※初めてスマートフォンに接続する場合はp.15~16の手順も併せてご確認ください。
※駐車監視モード中はスマートフォンに接続できません。
※カメラと接続できるスマートフォンは1台のみです。2台以上の同時接続はできません。

1 カメラ本体の無線LANをONにする

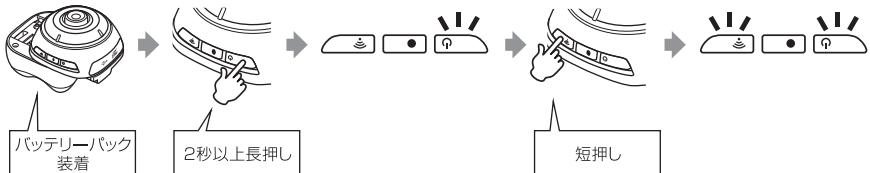
車載取付け時

エンジンをかけて(イグニッションをONにして)ください。無線LANは自動でONになります。



バッテリーパック装着時

バッテリーパックを装着し、電源ボタンを2秒以上長押しします。
その後、通信ボタンを短押ししてください。
※バッテリーパック装着後、約2秒間は電源ボタンを長押ししても電源はONになりません。



2 スマートフォンの無線LANをONにする

スマートフォンの「設定」から「Wi-Fi」をONにします。

<表示例>



3 SSIDを選択する

※パスワード入力は初回接続時のみ必要です。(p.16参照)
※SSIDやパスワードを変更したときやスマートフォンのOSをアップデートした場合、再度パスワード入力が必要となる場合があります。

4 専用アプリを起動し、接続を確認する

専用アプリを起動し、接続されているか確認してください。
接続ができない場合は、一旦カメラの電源をOFFにし、p.25の手順 1 からやり直してください。

5 見る、削除する

起動したアプリの画面に従って、動画や静止画の閲覧・削除を行ってください。

メモ

データのダウンロード時間について

動画や静止画をスマートフォンへダウンロードする際にかかる目安時間は下記の通りです。

1分間の動画 (4K相当)	約640秒
1分間の動画 (フルHD相当)	約180秒
1枚の静止画 (4K相当)	約2.5秒
1枚の静止画 (フルHD相当)	約0.9秒

※数値は目安であり、使用環境やデータ内容などによって大きく変動します。

※カメラ本体はスマートフォンと無線LANで直接通信するため、通信料はかかりません。

安全にお使い
いたくために
準備する
取付ける
撮る
見る、削除する
カメラの設定を
変更する
故障かな
と思ったら

便利な機能

パソコンで見る、削除する

1 パソコンに専用ソフトをインストールする

下記WEBサイトにて、専用ソフトをダウンロードし、お使いのパソコンにインストールします。

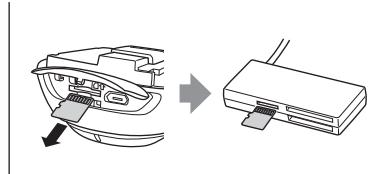
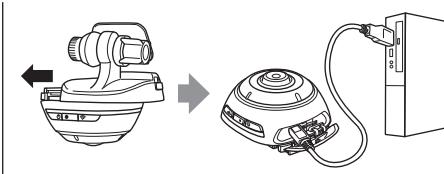
<https://daction.carmate.jp/support/>



2 メモリーカードをパソコンと接続する

下記のいずれかの方法でメモリーカードをパソコンに接続してください。

- カメラ本体をマウントから取り外し、付属の通信ケーブルを使ってパソコンと直接接続する。
- カメラ本体からメモリーカードを取り出し、市販のカードリーダーなどを使ってメモリーカードとパソコンを接続する。



3 専用ソフトを起動し、ファイルを読み込む

専用ソフトを起動し、メモリーカードからファイルを読み込んでください。

△注意

- 読み込み中は絶対にメモリーカードを取出さないでください。

4 見る、削除する

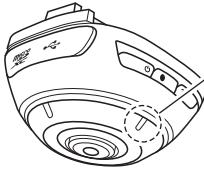
起動した専用ソフトの画面に従って、動画や静止画を再生してください。

ファイルを削除する場合は、メモリーカード上から直接削除するか、カメラ本体またはスマートフォンの専用アプリからフォーマット(p.33参照)を行ってください。

※フォーマットを行うと全てのファイルが消去され、フォルダ構成が最適化されます。

手動録画フォルダのメモリー残量をチェックする

カメラ本体のメモリーLEDは、「手動録画」フォルダ内に記録可能なメモリー残量を表示します。
※「常時録画」や「衝撃録画」、「駐車録画」など、上書き可能なフォルダのメモリー残量は表示しません。



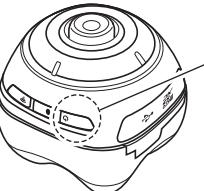
メモリーLED

緑 点灯	残量 50~100%
橙 点灯	残量 20~49%
赤 点灯	残量 0~19% / 未挿入
橙 点滅	メモリーカードエラー (対処方法はp.38参照)

バッテリー残量をチェックする

※別売のバッテリーオプション装着時のみ

装着されたバッテリーパックのバッテリー残量を電源LEDにて表示します。



電源LED

緑 点灯	残量 50~100%
橙 点灯	残量 20~49%
赤 点灯	残量 6~19%
橙 点滅	残量 0~5%

動作停止機能

運転者が降車する際の振動で駐車録画が開始してしまうことを防ぐために、エンジンを切ってから1分間または10分間は衝撃を検知しないように設定できます。

スマートフォンの専用アプリで設定してください。

駐車録画お知らせ機能

駐車監視モード中に録画があった場合、次回のエンジン始動時に音声でお知らせします。

※カメラの操作音量を「消音」に設定すると、お知らせ音声は流れません。なお、カメラの操作音量を「大」「小」どちらに設定しても同じ音量で流れます。

カメラの設定を変更する

△注意 •スマートフォンの専用アプリから設定を変更している間は全ての録画機能が停止します。

記録画素数を変更する

一部の録画機能において、記録画素数を4K相当に変更できます。

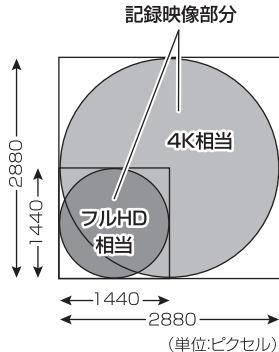
設定変更はスマートフォンの専用アプリから行ってください。

変更可能な録画機能は以下の通りです。

★:初期設定値

		4K相当 (2880×2880)	★フルHD相当 (1440×1440)
ライブモード	手動録画(通常)	○(※)	○
	手動録画(前後録画)	×	○
	衝撃録画	×	○
	静止画撮影	×	○
アクションモード	手動録画	○	○
	静止画撮影	○	○
駐車監視モード	駐車録画	○	○

※:ドライブモード時における4K相当の手動録画は、録画操作してから録画を開始するまでに数秒のタイムラグが発生します。



衝撃検知感度を変更する

ドライブモードでの衝撃録画および駐車監視モードでの駐車録画時の衝撃検知感度を変更できます。設定変更はスマートフォンの専用アプリから行ってください。

感度はレンズが真下向きのときに最大になります。カメラの振り角度が大きくなるほど感度は低下します。

	★:初期設定値
検知感度 (衝撃録画)	最高感度 :ドライブモード中、より衝撃を検知しやすい ★高感度 中感度 低感度 最低感度 :ドライブモード中、より衝撃を検知しにくい
検知感度 (駐車録画)	高感度 :駐車監視モード中、より衝撃を検知しやすい ★中感度 低感度 :駐車監視モード中、より衝撃を検知しにくい ※ボディをたたくなど、検知感度を確認してください。

SSIDとパスワードを変更する

SSIDとパスワードを変更できます。設定変更はスマートフォンの専用アプリから行ってください。
※パスワードを忘れた場合は、カメラをリセットしてください(p.31参照)。SSIDとパスワードが初期化されます。

パーティションのタイプを変更する

ご使用いただく用途に合わせてパーティション(各フォルダの割り当て容量)を変更できます。

カメラ本体にメモリーカードを挿入し、電源を入れた後、スマートフォンの専用アプリから設定変更を行ってください。

△注意 •設定を変更すると、メモリーカードは自動でフォーマットされ、全てのファイルが消去されます。

●標準(初期設定値:手動録画をよく使用する方におすすめです。)

録画機能	記録画素数	16GB	32GB	64GB	128GB
常時録画	フルHD相当	約22分	約49分	約102分	約208分
衝撃録画 + 駐車録画	衝撃/駐車録画:フルHD相当	約8分	約19分	約39分	約80分
	衝撃録画:フルHD相当 駐車録画:4K相当	約2分	約5分	約10分	約21分
手動録画	フルHD相当	約55分	約119分	約247分	約504分
	4K相当	約14分	約31分	約65分	約132分
静止画撮影	フルHD相当	約264枚	約569枚	約1180枚	約2400枚
	4K相当	約63枚	約136枚	約281枚	約572枚

(フルHD相当:1440×1440 4K相当:2880×2880)

●常時録画優先(ドライブレコーダーとして使用する方におすすめです。)

録画機能	記録画素数	16GB	32GB	64GB	128GB
常時録画	フルHD相当	約63分	約135分	約281分	約572分
衝撃録画 + 駐車録画	衝撃/駐車録画:フルHD相当	約15分	約32分	約66分	約136分
	衝撃録画:フルHD相当 駐車録画:4K相当	約3分	約8分	約17分	約35分
手動録画	フルHD相当	約10分	約21分	約44分	約91分
	4K相当	約2分	約5分	約11分	約24分
静止画撮影	フルHD相当	約16枚	約34枚	約71枚	約144枚
	4K相当	約4枚	約8枚	約17枚	約34枚

(フルHD相当:1440×1440 4K相当:2880×2880)

※上記数値は目安で、保証値ではありません。

お使いの状況、被写体や周囲環境などの要因によって異なります。

次のページへつづく

安全にお使い
いたくために
準備する
取付ける
撮る
見る、削除する
カメラの設定を
変更する
故障かな
と思ったら

メモ

※フォルダ構成について

メモリーカードに保存されるファイルは、録画機能毎に以下のフォルダに分けられます。



リセット(初期化)する

全ての設定値が初期化されます。

下記のいずれかの状態で、通信ボタン [①] を押しながら録画ボタン [②] を5回短押ししてください。

- ドライブモード・電源ON (常時録画のみ動作中)
- アクションモード・電源ON (何も録画していない)

*リセットしてもメモリーカード内のデータおよびカメラ本体のバージョンはリセットされません。

*録画LEDが赤に点灯している場合はリセットできません。



△注意

- リセット中は全てのLEDが橙色に点滅します。橙色の点滅が消えるまで、電源の切斷・ボタン操作・メモリーカードの挿入／取出しは行わないでください。

メモ

スマートフォンの専用アプリからも行えます。

その他の設定を変更する

下記の項目も変更できます。

設定変更はスマートフォンの専用アプリから行ってください。

WDR(※)	[ドライブモード] ★強 ★弱 OFF	[アクションモード] 強 ★弱 OFF	[駐車監視モード] ★強 弱 OFF
明るさ(露出)	-2 :明るさ(露出)を暗く補正する ★ 0 +2 :明るさ(露出)を明るく補正する		
録音	★ON :音声録音する OFF :音声録音しない		
操作音量	大 :カメラ本体の音量を最大にする ★小 :カメラ本体の音量を標準にする 消音 :消音する		
動作停止時間	★1分 10分 :駐車監視モード開始後1分間は衝撃を検知しないよう設定する :駐車監視モード開始後10分間は衝撃を検知しないよう設定する		
ドライブモード時の手動録画パターン	★通常 :手動録画開始後、終了の操作またはフォルダが一杯になるまで録画を続ける 前後録画 :手動録画開始の前10秒間と後30秒間(計40秒間)を録画する		
省エネモード切り替え時間	0時間 :駐車監視モード開始後、すぐに省エネモードに移行する ★16時間 :駐車監視モード開始後、16時間が経過した場合に省エネモードに移行する		

★:初期設定値

メモ

※:WDR(ワイドダイナミックレンジ)とは

明るい場所での白飛びや暗い場所での黒つぶれを抑え、適度な明るさに補正する機能です。

その他

フォーマット

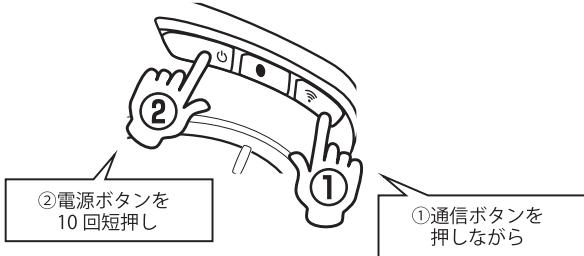
メモリーカード内のファイルを全て消去し、フォルダ構成を最適化します。

フォーマットは、カメラ本体またはスマートフォンの専用アプリから行えます。

*フォーマットを行うと全てのファイルが消去されます。あらかじめパソコンなどにデータをバックアップすることをおすすめします。

カメラ本体でのフォーマット方法

ドライブ／アクションモードでカメラを起動し、通信ボタン  を押しながら電源ボタン  を10回短押ししてください。



スマートフォンでのフォーマット方法

カメラとスマートフォンを無線LAN接続し、専用アプリのカメラ設定画面から「メモリーカードフォーマット」を選択してください。

△注意

- メモリーカードの新規購入時や他の機器で使用した場合、パソコンでフォーマットをした場合などは、ご使用前に必ず本製品でフォーマットしてください。
- 半年に1回程度、定期的にフォーマットすることをおすすめします。フォーマットせずに使い続けると、記録できない領域(不良セクタ)が発生し、「記録できない」「必要な録画ファイルが上書きされてしまう」といったことが起きる可能性があります。

カメラ本体のファームウェアアップデート

仕様変更、機能追加などにより、カメラ本体のファームウェアがアップデートされることがあります。
お使いのカメラ本体のバージョンをご確認の上、最新のバージョンが公開されている場合は、スマートフォンまたはパソコンからアップデートを行ってください。

メモ

現在のバージョンは、カメラ本体と無線LAN接続したスマートフォンのアプリから確認できます。

最新のバージョンは、右記のWEBサイトから確認してください。

<https://daction.carmate.jp/support/>



スマートフォンで行う場合

カメラ本体のファームウェアアップデートが可能な場合は、スマートフォンをカメラ本体と接続して専用アプリを起動すると、アップデートが通知されます。
専用アプリの指示に従ってアップデートを行ってください。

パソコンで行う場合

1 最新のファームウェアファイルをダウンロードする

左ページのWEBサイトより、最新のファームウェアファイルをパソコンのデスクトップにダウンロードします。

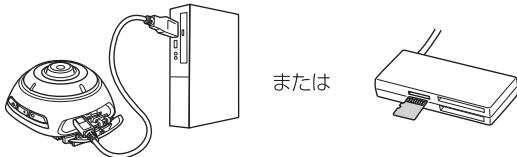
2 ファイルを解凍する

手順1でダウンロードしたファイル(zip形式)を解凍します。

次のページへつづく 

3 メモリーカードをパソコンと接続する

カメラ本体を同梱の通信ケーブルで直接接続するか、市販のカードリーダーなどを使って、メモリーカードとパソコンを接続します。



4 解凍したファームウェアファイルをメモリーカード内に移動(コピー)する

パソコンでメモリーカード内の「FIRMWARE」フォルダを開きます。

そこに、p.34の手順②で解凍したファイル(firmware.bin)を移動(コピー)してください。

- △注意**
- ファームウェアファイルの名称は変更しないでください。
 - 書き込み中は絶対にメモリーカードを取出さないでください。

5 メモリーカードをカメラ本体へ戻す

ファイルの移動が完了したら、通信ケーブルを取り外してください。

カードリーダーで接続している場合は、カードリーダーからメモリーカードを取出してカメラ本体に戻します。

6 カメラの電源を入れる

下記のいずれかの方法でカメラの電源を入れてください。

- カメラ本体をマウントに装着し、電源ケーブルのmicroUSBコネクタをカメラ本体に差込んだ後、車のエンジンをかける(イグニッションをONにする)。
- 充電されたバッテリーパックをカメラ本体に装着し、電源ボタンを2秒以上長押しする。

※バッテリー残量が50%以上(電源LEDが緑色に点灯)の状態でなければ、アップデートはできません。



電源が入ってから数秒後に、自動でカメラ本体のファームウェアアップデートが開始されます。アップデート中はメモリーレッドを除く全てのLEDが赤色に点滅します。

- △注意**
- 赤色の点滅が消えるまで、電源の切断・ボタン操作・メモリーカードの抜き差しは行わないでください。

アップデートが開始されない場合

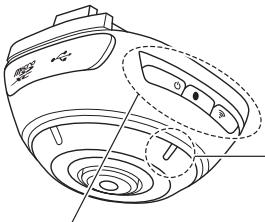
- 電源LEDがエラー表示(橙色に点滅)しているとき
→バッテリー残量が不充分です。バッテリーパックを充電してから、手順⑥を行ってください。
- 全てのLEDが消灯したままのとき
→電源接続およびバッテリー残量を確認してください。

アップデートに失敗した場合

- p.34の手順①からやり直してください

故障かなと思ったら

LED表示内容



メモリーLED	内容	参照ページ
緑点灯	メモリー残量(手動録画フォルダ) 50~100%	
橙点灯	メモリー残量(手動録画フォルダ) 20~49%	p.28
赤点灯	メモリー残量(手動録画フォルダ) 0~19% / 未挿入	
橙点滅	メモリーカードエラー(対処方法はp.38参照)	p.38

電源LED	録画LED	通信LED	内容	参照ページ
■	■	■	電源ON	
緑点灯	-	-	電源ON(駐車監視モード・通常時)	p.22~24
緑点滅	-	-	電源ON(バッテリー残量 20~49%)※	
橙点灯	-	-	電源ON(バッテリー残量 6~19%)※	p.28
赤点灯	-	-	電源OFF / 電源ON(駐車監視モード・省エネモード時)	p.22~24
消灯	-	-	電源ON(バッテリー残量 0~5%) / エラー	p.38
橙点滅			電源ON(バッテリー残量 0~5%) / エラー	

-	緑点灯	-	常時録画中	p.22~24
-	赤点灯	-	衝撃 / 手動 / 駐車録画中	
-	赤点滅(1回)	-	静止画撮影	
-	消灯	-	録画停止中	
-	橙点滅	-	空き容量不足 / エラー	

-	-	緑点灯	無線LAN ON	p.25~26
-	-	緑点滅	スマートフォンと通信中	
-	-	消灯	無線LAN OFF	

橙点滅	橙点滅	橙点滅	リセット中	p.31
赤点滅	赤点滅	赤点滅	カメラ本体のバージョンアップ中	p.34~36

※:アクションモード時のみ

症 状	解 説	参照ページ
電源が入らない 【ドライブモード時】 【駐車監視モード時】	<ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブルや電源ソケットが正しく接続されているか確認してください。 カメラ本体が高温になっていないか確認してください。動作温度範囲を超える場合は、カメラ本体を冷ましてから再度電源を入れてください。 一度電源ケーブルをカメラ本体から取外し、5分程度経ってから再度差込み、電源をONにしてください。このとき、メモリーカードは挿入したまま行ってください。 	p.20 p.7 —
電源が入らない 【アクションモード時】	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーパックが、しっかりとカメラ本体に装着されているか確認してください。 バッテリーパック装着後、約2秒間は電源ボタンを長押ししても電源は入りません。 バッテリーパック装着後、電源ボタンを2秒以上長押しする必要があります。 バッテリーパックを確認してください。不足している場合は、充電してください。 	p.23 p.28 p.7
録画できない / 録画したデータが 消えている	<ul style="list-style-type: none"> メモリーカードの残量を確認してください。手動録画フォルダの容量が不足している可能性があります。 衝撃録画、駐車録画、常時録画はフォルダ容量が一杯になると古いデータから順に上書きされます。残したいデータはパソコンなどに保存してください。 メモリーカードの種類、スピードクラス、容量を確認してください。 	p.28 p.22~24 p.14
データがおかしい	●メモリーカードの種類、スピードクラス、容量を確認してください。	p.14
メモリーLEDが橙点滅 (エラー)している	<ul style="list-style-type: none"> 挿入されているメモリーカードが、使用条件を満たしているか確認してください。 カメラ本体またはスマートフォンアプリからメモリーカードのフォーマットを行ってください。 カメラ本体をリセットしてください。 それでも直らない場合、メモリーカードの寿命である可能性があります。メモリーカードを交換してください。 	p.14 p.33 p.31 —
電源ボタンを 長押しすると エラー(橙点滅)が出る	<ul style="list-style-type: none"> ドライブモード中および駐車監視モード中の場合は、「電源ボタン操作不可」です。 アクションモード中の場合は、「バッテリー残量不足」です。バッテリーパックを充電してください。 	— p.28
録画ボタンを押すと エラー(橙点滅)が出る	<ul style="list-style-type: none"> 手動録画および静止画撮影データを保存するフォルダの容量不足です。スマートフォンの専用アプリからメモリーカードの残量を確認してください。 駐車監視モード中や、パソコンと接続している場合は、「録画ボタン操作不可」です。 	p.28 —

安全にお使い
いたくために
準備する
取付ける
撮る
見る、削除する
カメラの設定を
変更する
故障かなと思ったら

症 状	解 説	参照ページ
通信ボタンを押すとエラー(橙点滅)が出る	●駐車監視モード中や、パソコンと接続している場合は、「通信ボタン操作不可」です。(駐車監視モード中は無線LANをONにできません。)	—
スマートフォン用アプリが検索できない／インストールできない	●お使いのデバイスが動作保証外の可能性があります。WEBサイトより動作保証環境を確認してください。	p.12
スマートフォンに接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ●駐車監視モード中や、パソコンを使用している場合はスマートフォンに接続できません。 ●専用アプリを一旦終了してからスマートフォンの無線LANをOFFにした後、再度ONにして接続を確認してください。それでも接続できない場合は、専用アプリを一旦終了し、カメラの電源をOFFにして、再度p.25の手順①からやり直してください。 ●カメラと接続中のスマートフォンがないか確認してください。カメラと接続できるスマートフォンは1台のみです。前に接続しているスマートフォンの無線LANをOFFにした後、再度接続を試してください。 	<p>—</p> <p>p.25~26</p>
スマートフォンにてアップデートが通知されない	<ul style="list-style-type: none"> ●スマートフォンからアップデートする機能は、カメラ本体のファームウェアがVer.1.1.0以降に追加されました。Ver.1.1.0未満の場合は、パソコンからアップデートを行ってください。 ●スマートフォンがインターネットに接続された状態でアプリを起動した時に、最新のファームウェアがスマートフォンへ自動ダウンロードされます。SIM無し端末など、インターネット環境の無いスマートフォンの場合は、パソコンからアップデートを行ってください。 	<p>—</p> <p>p.34</p>
パソコン用ソフトがインストールできない	●お使いのデバイスが動作保証外の可能性があります。WEBサイトより動作保証環境を確認してください。	p.12
パソコン用ソフトで再生ができない	●お使いのデバイスが動作保証外の可能性があります。WEBサイトより動作保証環境を確認してください。	p.12
動画や静止画が明るすぎる/暗すぎる	●WDRや明るさ(露出)の値を調整してください。	p.32
位置情報が取得できない	<ul style="list-style-type: none"> ●駐車監視モード中は位置情報を取得できません。 ●位置情報は衛星から受信した信号を元に特定されます。電波を受信しにくい環境(トンネルやビル街など遮蔽物が多い、カメラ本体の周りに電波や磁気を発生するものがある、など)では取得が困難です。 ●カメラの電源をONにしてから位置情報を取得するまで約40秒以上かかります。 	—
ドライブモードに切り替わらない	●付属の電源ソケットおよび電源ケーブルで接続されているか確認してください。市販のUSB電源ソケットやmicroUSBケーブルは使用できません。破損・紛失などは、当社サービスセンターにお問い合わせください。	p.7

症 状	解 説	参照ページ
「SDカードを確認してください」という音声が流れた	●読み書き速度の遅い規格／容量が16GB未満／他のデータが入っていて空き容量が8GB未満／規格表示の無いメモリーカードが差込まれています。使用条件をクリアするメモリーカードが差込まれているか確認してください。	p.14
「SDカードを交換してください」という音声が流れた	●メモリーカードにエラーが発生しています。メモリーカードを交換してください。	—
「SDカードが見つかりません」という音声が流れた	<ul style="list-style-type: none"> ●メモリーカードが挿入されているか確認してください。 ●メモリーカードが破損している場合は、メモリーカードを交換してください。 	—
「容量が一杯です」という音声が流れた	<ul style="list-style-type: none"> ●カードフルエラーです。メモリーカード内の手動録画ファイルまたは静止画撮影ファイルを削除するか、メモリーカードをフォーマットしてください。 	<p>p.25~27</p> <p>p.33</p>
「フォーマットしてください」という音声が流れた	<ul style="list-style-type: none"> ●メモリーカードに問題が生じている、またはフォーマット推奨期間が経過しました。カメラ本体またはスマートフォンアプリからメモリーカードのフォーマットを行ってください。なおお推奨期間はエンジンの始動回数と走行距離の累積からカウントされる仕様になっております。 	p.33
「録画できていません」という音声が流れた	●ドライブモード中に常時録画が動作していません。メモリーカードが差込まれていて、エラーが出ていないかなどを確認してください。	—
駐車監視モードに切り替わらない	<ul style="list-style-type: none"> ●付属の電源ケーブルおよび対応オプションのコードで接続されているか確認してください。市販のmicroUSBケーブルや類似コードは使用できません。破損・紛失などは、当社サービスセンターにお問い合わせください。 ●エンジンを切った後もアクセサリー電源が一定時間OFFにならない車の場合はすぐに切り替わりません。車のアクセサリー電源がOFFになってから駐車監視モードが開始します。 	<p>—</p> <p>p.7</p>
日時の記録がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ●本製品は世界標準時でデータを記録しています。パソコンでメモリーカードを開くと時刻がずれていますが故障ではありません。 ●初回の日時設定が完了していません。GPSなどの電波を受信しやすい環境で約40秒以上カメラの電源をONにしたままお待ちください。 	<p>—</p> <p>p.20</p>
スマートフォンへの転送時間が遅い	<ul style="list-style-type: none"> ●無線でデータを送信するため、環境によって転送時間は大きく変動します。 ●4K相当の画素数で撮影した場合、データ容量が大きいため転送に時間を要します。 	p.26

仕様

品名	d'Action 360 (ダクション 360)
品番	DC3000
記録画素数	2880×2880 (4K相当:約800万画素) 1440×1440 (フルHD相当:約200万画素)
有効画素数	約1353万画素
撮像素子	裏面照射型CMOSイメージセンサー 1/2.3型
フレームレート	最大27.5fps ※高温動作時は自動でフレームレートを変更
F値	F2.0
画角	水平:360° 垂直:194°
電源電圧	DC12V / 24V (カメラ本体:DC5V) ※電源ソケット使用時 DC12V: 約370mA (4K相当撮影時) / 約240mA (フルHD相当撮影時)
消費電流	DC24V: 約185mA (4K相当撮影時) / 約120mA (フルHD相当撮影時) DC5V : 約800mA (4K相当撮影時) / 約500mA (フルHD相当撮影時)
受信可能衛星	GPS衛星、みちびき、グロナス
録画機能	常時録画、衝撃録画、手動録画、静止画撮影 駐車録画(別売の駐車監視オプションが必要)
ファイル形式	動画:MOV (MPEG4-AVC/H.264) 静止画:JPEG
対応記録媒体	microSDHC / microSDXC 16~128GB (UHS-I スピードクラス3) ※SDアソシエーションの正規品
記録映像再生方法	スマートフォン用アプリ (iOS, Android) パソコン用ソフト (Windows)
無線LAN	IEEE802.11 b/g/n準拠 (2.4GHz帯)
外形寸法	H42mm×W62mm×D64mm (カメラ本体) H104mm×W62mm×D64mm (マウント装着時) カメラ本体:約100g マウント:約47g
その他	3軸Gセンサー内蔵 ステレオマイク内蔵 WDR機能搭載
動作温度範囲	-10°C~60°C (駐車監視モード時) -10°C~40°C (ドライブモード時、アクションモード時)
保証期間	1年間

- Android, Google Play, Google Playロゴは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- iOS商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- microSD、およびmicroSDHC、microSDXCロゴは、SD-3C, LLCの登録商標です。

保証書

保証規定

1. 保証期間内(お買上げ日より1年間)に、正常なご使用状態において、万一故障した場合には無料で修理または交換いたします。
2. 次のような場合には、保証期間内でも有料修理・交換になります。
 - (イ) 本保証書のご提示がない場合
 - (ロ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ハ) お買上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (二) 外部から水分などの浸入の形跡が見られる場合
 - (ホ) 火災、地震、水害、異常電圧、公害、指定外の使用電源(電圧・周波数)及びその他天災、地変などによる故障及び損傷
 - (ヘ) 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合。ただし、お買上げ日、販売店名はレシートで可
 - (ト) 外観部分の損傷
3. 不正改造車に取付けされた場合は保証対象外です。
4. 製品・部品・付属品を紛失された場合は保証対象外です。
5. 他の人から譲り受けたもの、または再販品に関しては保証対象外です。
6. 修理・交換は、必ず本保証書をご提示の上、お買上げの販売店またはカーメイトサービスセンターにご依頼ください。
7. 本保証書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。
8. 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only for service in Japan.



株式会社 カーメイト

本社/〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11 TEL. 03-5926-1212(代表)